

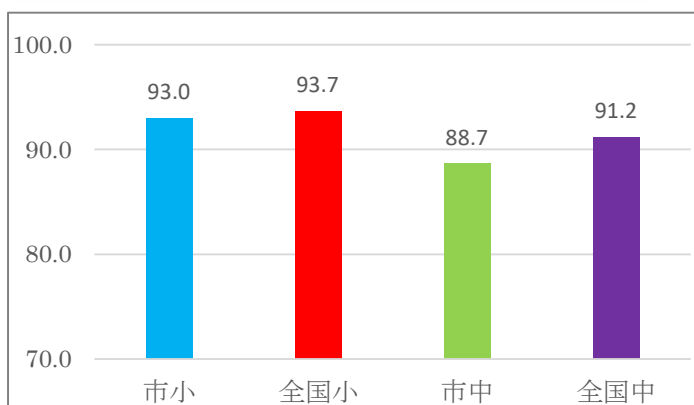
生活習慣（朝食）について

毎日の朝食から生活習慣について考える。

質問

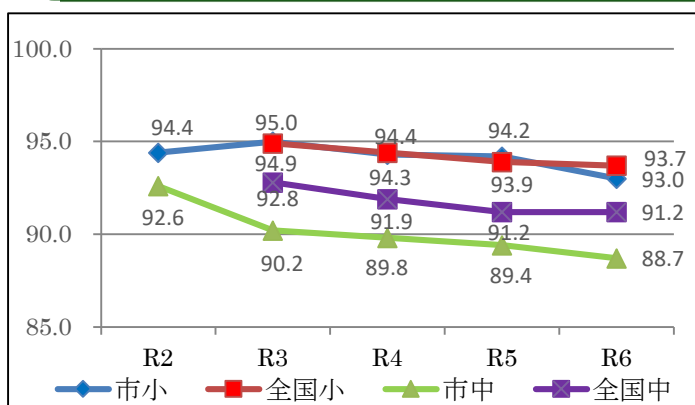
朝食を毎日食べていますか。※R2 は小中ともに全国の集計なし。（以下全項目同じ）

今年度の結果



小学校、中学校ともに、全国平均と同様に高い傾向にあります。その一方で朝食を食べていない生徒が中学はクラスに2～3人いる割合になっています。

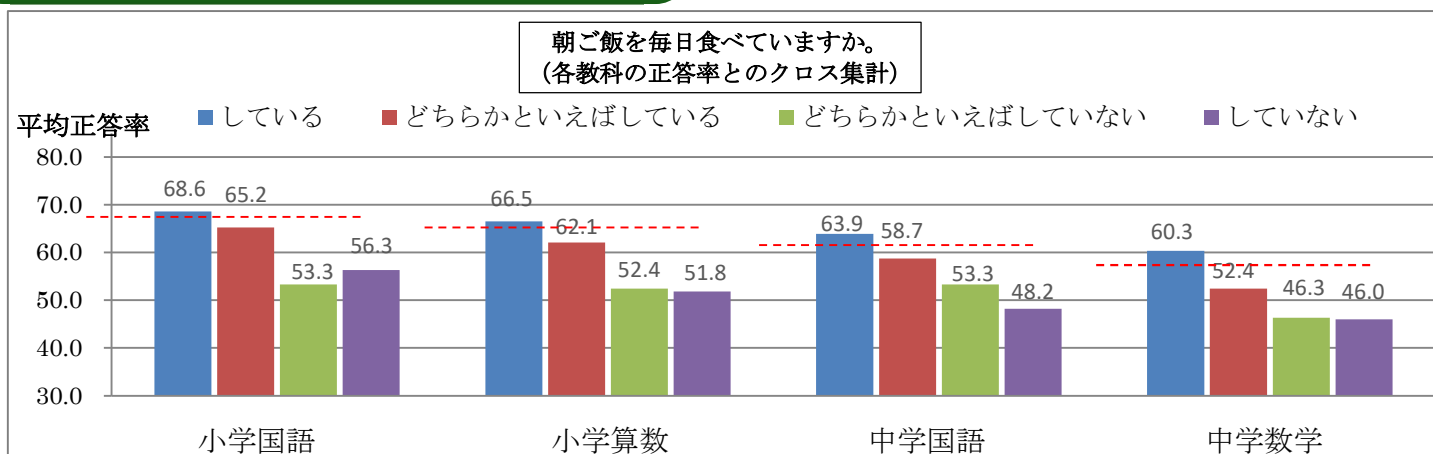
5年間の比較



全国と比較すると小学校はほぼ変わらず、中学校は2ポイントほど低い状況で推移しています。小中学校ともに、若干の減少傾向がみられます。

※グラフは、「している」「どちらかといえば、している」の回答率を合計した数値で示しています。

各教科の正答率とのクロス集計



この質問に対しては、朝ご飯を食べていると回答した児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。

※ ----- 海老名市平均正答率：小学国語 67.0、小学算数 65.0、中学国語 60.7、中学数学 57.5

これからの指導について

全国の平均値や過去5年間の経過を比較しても、大きな変化は見られませんが、「学級に2～3人は朝食を食べてきていない児童生徒がいる」という現状にも、変化がありません。睡眠時間を含めた生活リズムを整えることの大切さを保健体育等の授業で引き続き指導します。

「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとする生活習慣の安定は、クロス集計の結果からもわかるように、学力の定着にも影響していると言えます。今後ともご家庭でのご協力をお願いします。

児童生徒質問 ②

学力との
関わり

令和6年度
全国学力・学習状況調査 単位%

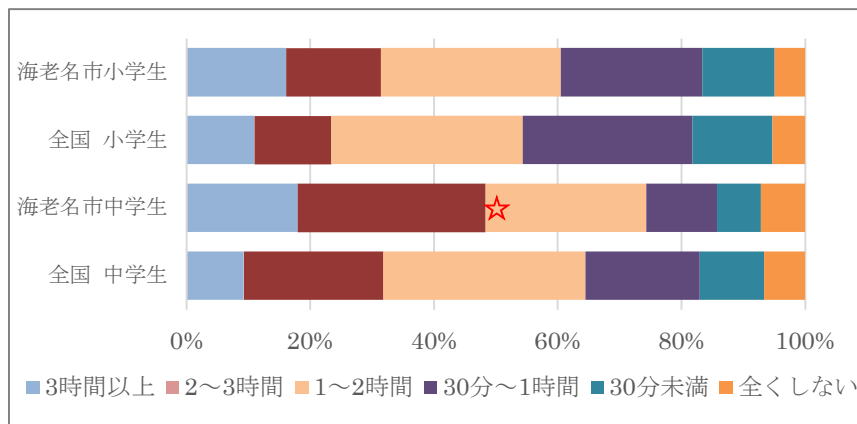
学習習慣（家庭学習）について

学校の授業時間以外の学習から、家庭での学習習慣について考える。

質問

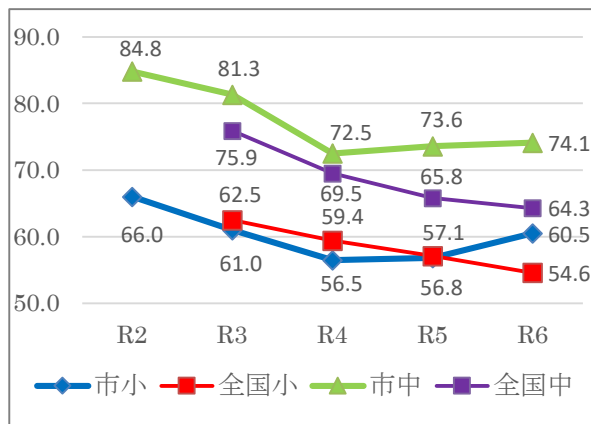
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間やインターネットを活用した学習時間も含む）

今年度の結果



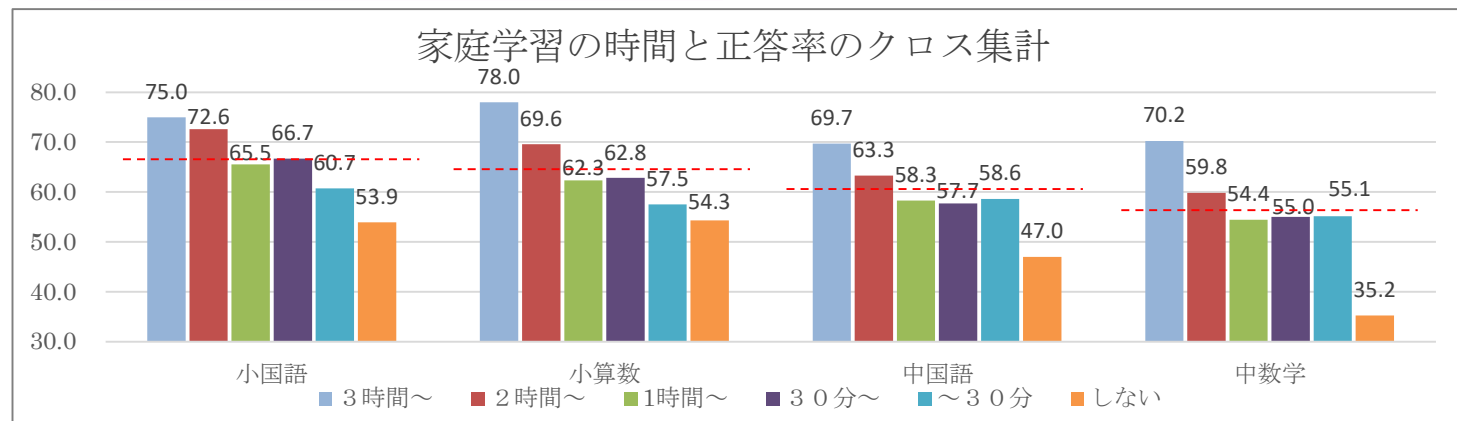
小中学校ともに、家庭学習（塾などを含む）の時間が2時間以上の児童生徒の割合は、全国平均を上回っています。特に中学生においては、全国平均を大幅に上回っています（★）。

5年間の推移



1時間以上学習をしている児童・生徒の割合は、全国的に減少傾向にある中で、本市の児童生徒には増加傾向が見られます。

各教科の正答率とのクロス集計



この質問に対しては、より家庭学習時間が多い児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。

※ 海老名市平均正答率：小学国語 67.0、小学算数 65.0、中学国語 60.7、中学数学 57.5

これからの指導について

家庭学習時間の量と正答率の関係性は、どの教科にも表れています。学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。また、毎日計画的に学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。少しずつでも継続することが、大きな力につながります。海老名市では1人1台端末の持ち帰りを進めておりますので、ICTを活用した家庭学習について考えていきます。

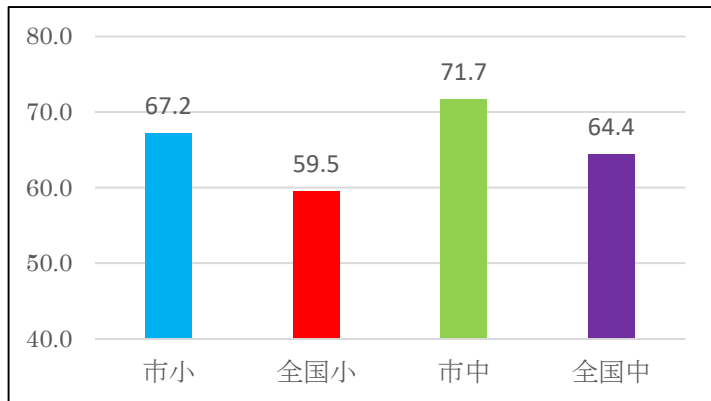
ICT 機器の授業活用について

授業での ICT 機器の活用から、個々の学びの多様性に
応じた学習について考える。

質問

前学年までの授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか。

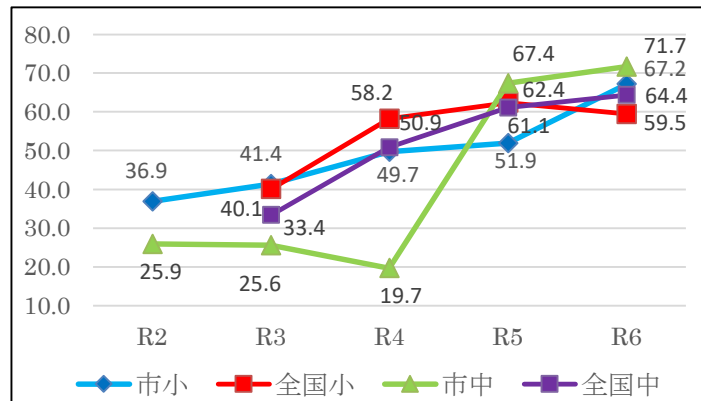
今年度の結果



小学校、中学校ともに全国の平均を上回っています。

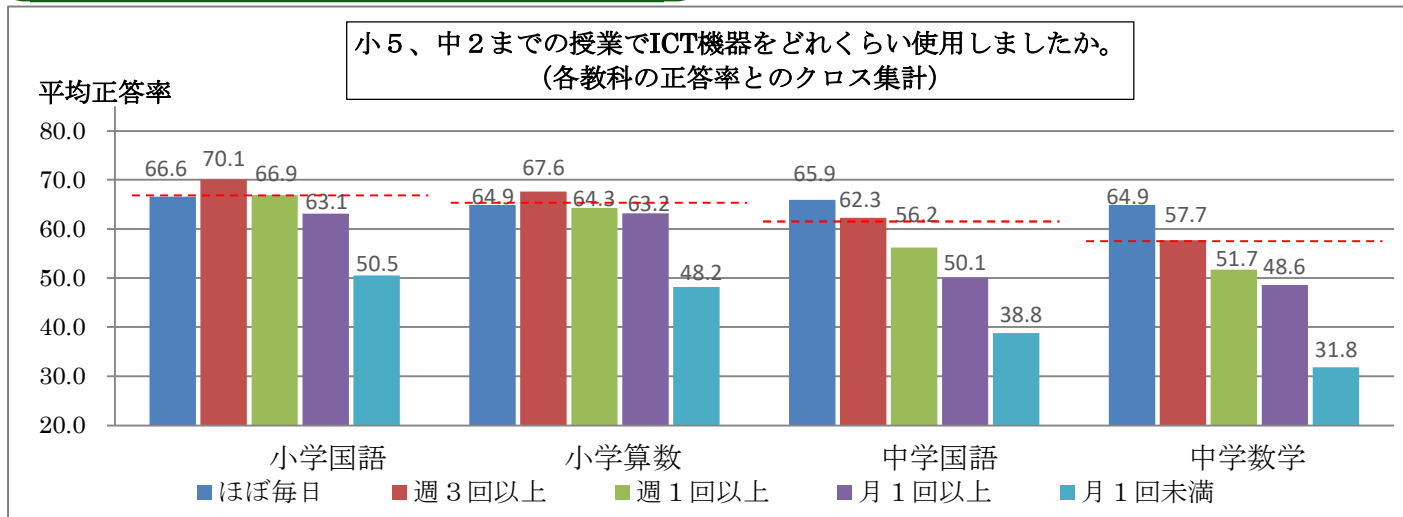
※グラフは、「ほぼ毎日」「週3回以上」使用した回答率を合計した数値で示しています。

5年間の比較



小学校、中学校において授業での ICT 機器の活用が、大幅に進んでいます。

各教科の正答率とのクロス集計



ICT 機器の授業での使用時間と正答率との関係性は、昨年度までは小中学校ともに全国との大きな差は認められませんでした。が、今年度の調査では、中学校では顕著に差が表れています。

※ --- 海老名市平均正答率：小学国語 67.0、小学算数 65.0、中学国語 60.7、中学数学 57.5

これからの指導について

1人1台端末(タブレット・ノートPC)が導入されて、授業での ICT 機器の活用が進んできました。ICT 機器の活用が各教科の正答率に結びついているため、学校においては、授業の中でのより効果的な活用の研究を進めるとともに、不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒、外国につながる児童生徒に対する学習活動等の支援など、児童生徒ひとりひとりの学びの多様性に応じた、より個別最適な学習ツールとしての活用を進めていきます。

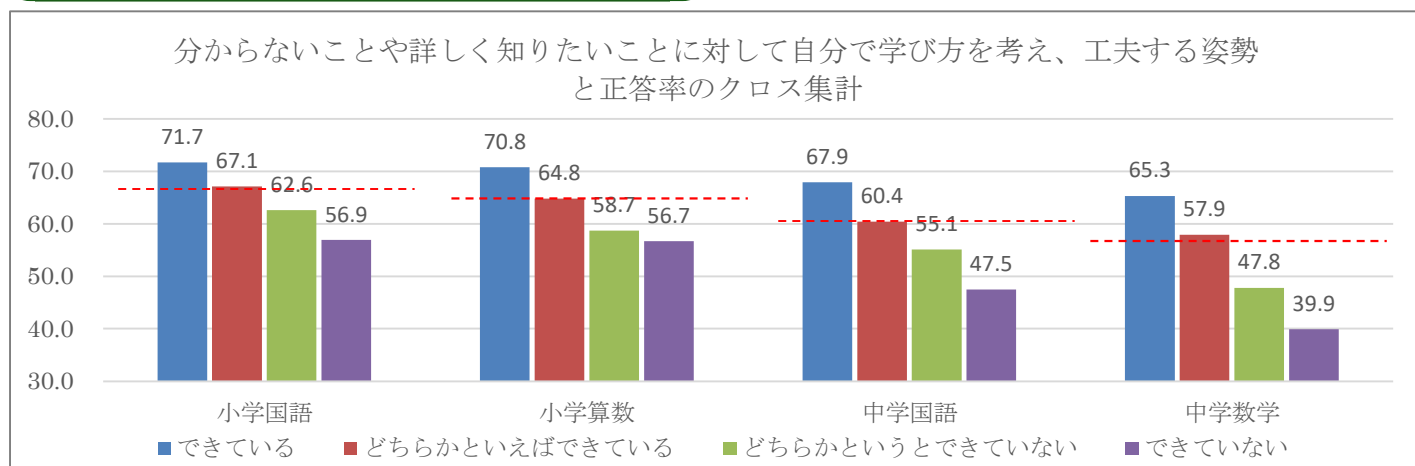
学習に対する姿勢について

児童生徒の主体的な学びの姿勢について考える。

質問

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

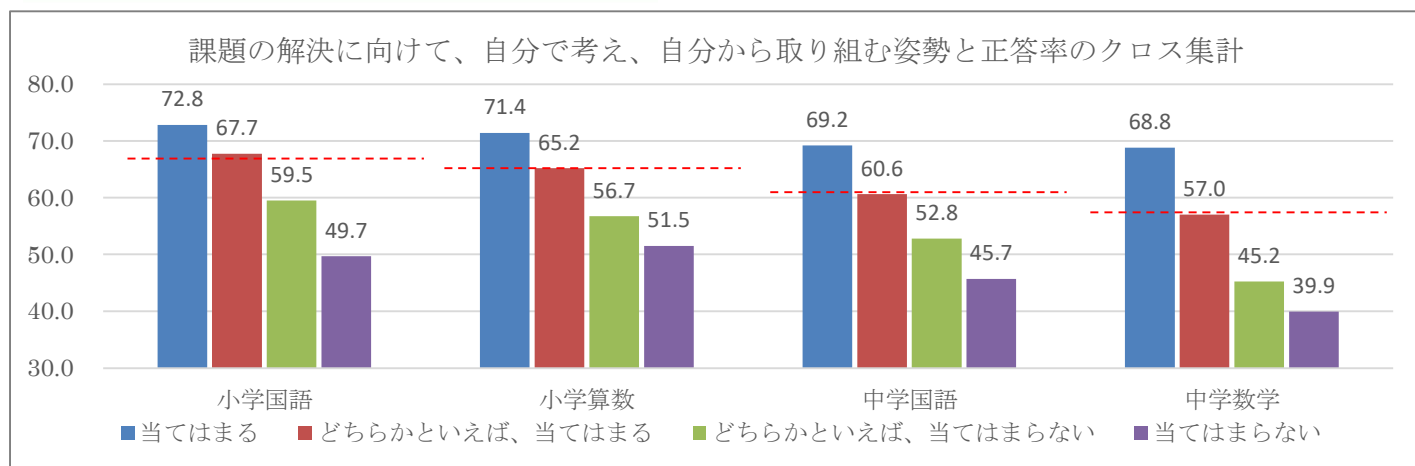
各教科の正答率とのクロス集計



質問

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

各教科の正答率とのクロス集計



これらの質問に対しては、主体的に学ぼうとする姿勢をもつ児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。
※ 海老名市平均正答率：小学国語 67.0、小学算数 65.0、中学国語 60.7、中学数学 57.5

これからの指導について

主体的に学習に取り組む姿勢を育むことの大切さは、正答率の関係にも表れています。学校においては、児童生徒が主体的に学習に取り組める指導計画や指導方法の研究を進めていきます。ご家庭においても、児童生徒が興味関心を持って課題解決に取り組むような体験の機会や、主体的に学習に向き合えるような声掛けなどのご協力をお願いします。

児童生徒質問の結果から

主な結果と経年変化

令和6年度
全国学力・学習状況調査 単位%

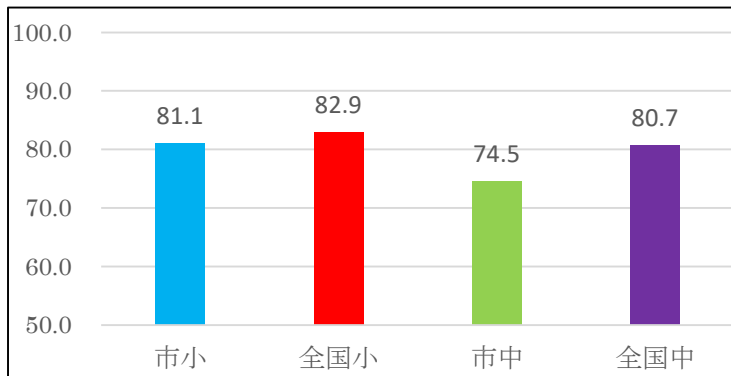
「生活習慣」について

毎日の起床時刻や就寝時刻から生活習慣について考える。
(令和2年は国の調査なし)

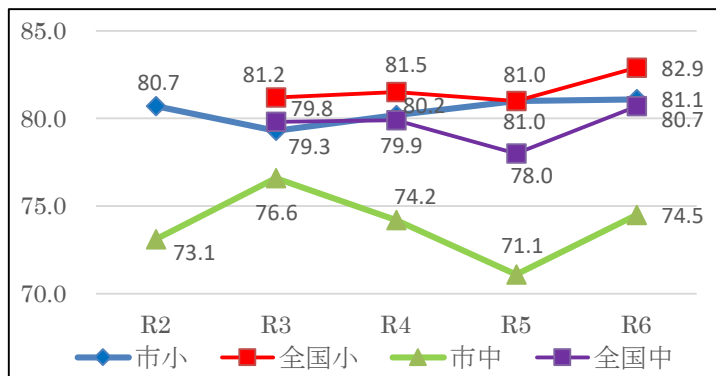
質問

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。(している・どちらかといえばしているの割合)

今年度の結果



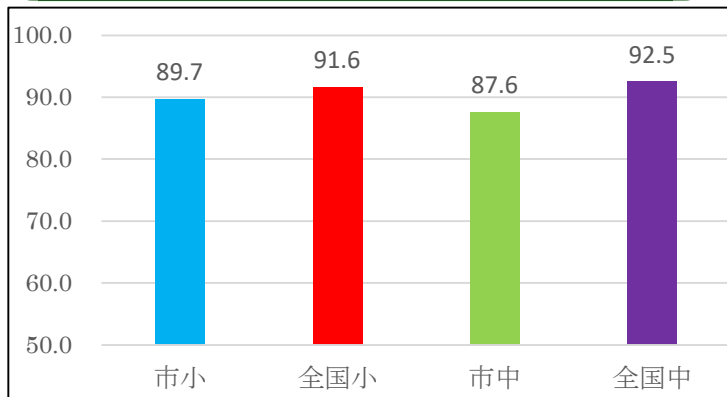
5年間の比較



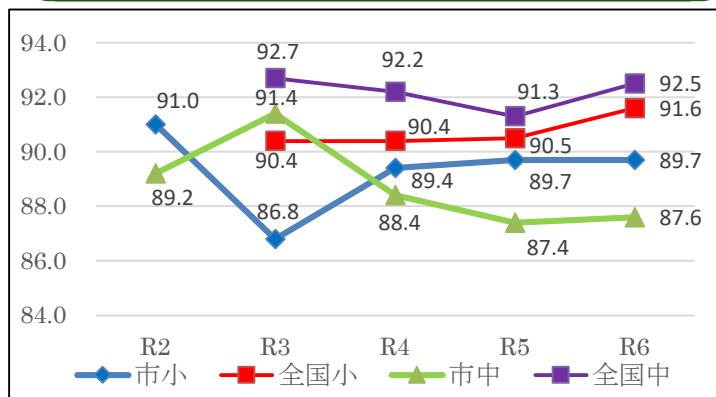
質問

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。(している・どちらかといえばしているの割合)

今年度の結果



5年間の比較



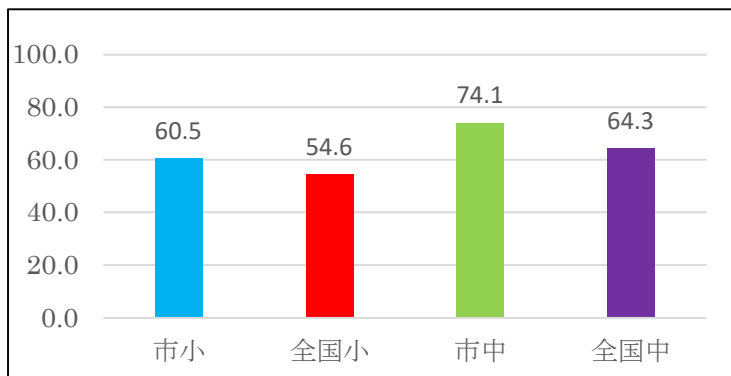
「学習習慣」について

学校の授業時間以外の学習様子から、学習習慣について考える。

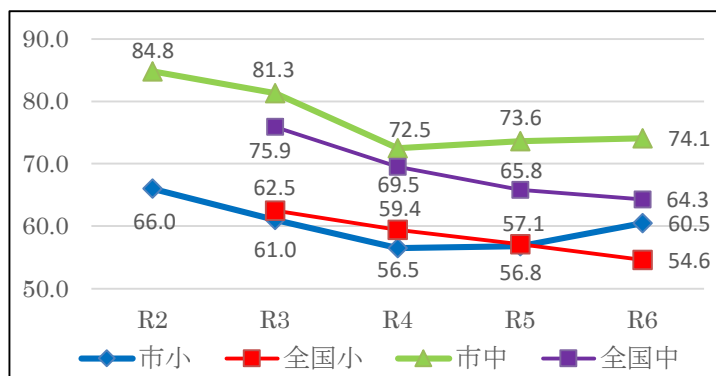
質問

家での学習時間。(塾・インターネット含む、一日当たり1時間以上学習しているの割合)

今年度の結果



5年間の比較



児童生徒質問の結果から

主な結果と経年変化

令和6年度
全国学力・学習状況調査 単位%

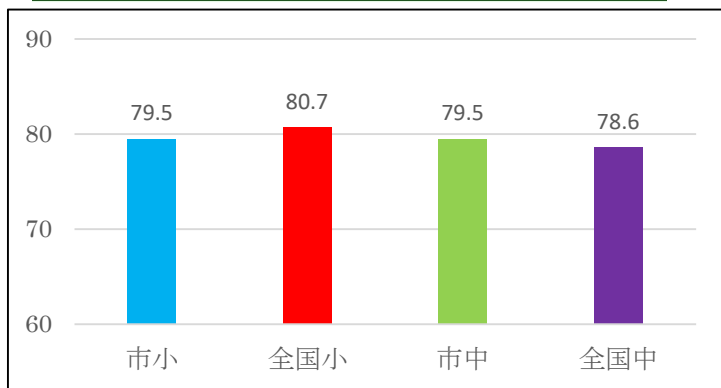
「学習に対する姿勢」について

児童生徒の主体的な学びについて考える。

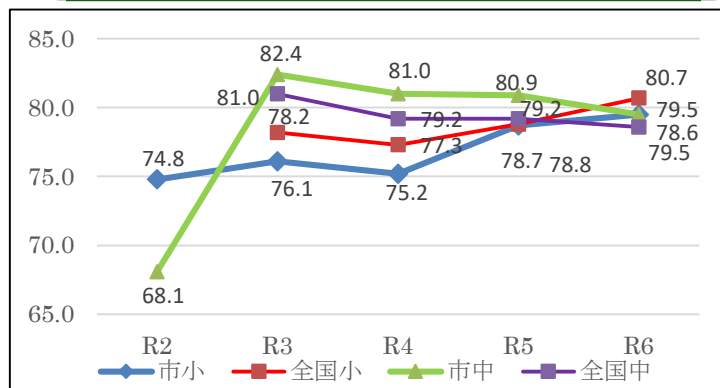
質問

課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組んでいましたか。(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果



5年間の比較



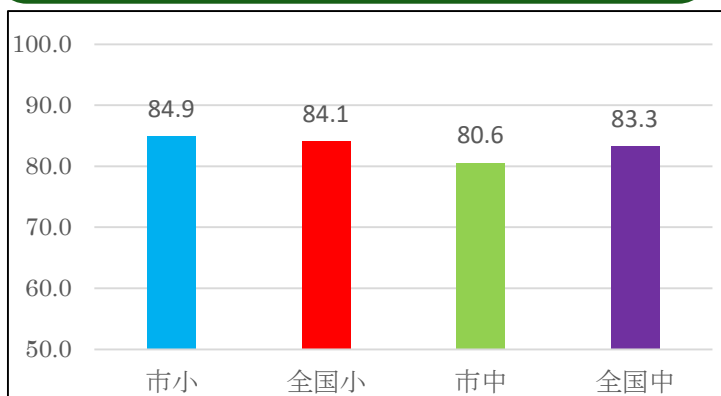
「規範意識・自己有用感」について

自分の良さやいじめに対する考え方等から、規範意識・自己有用感について考える。

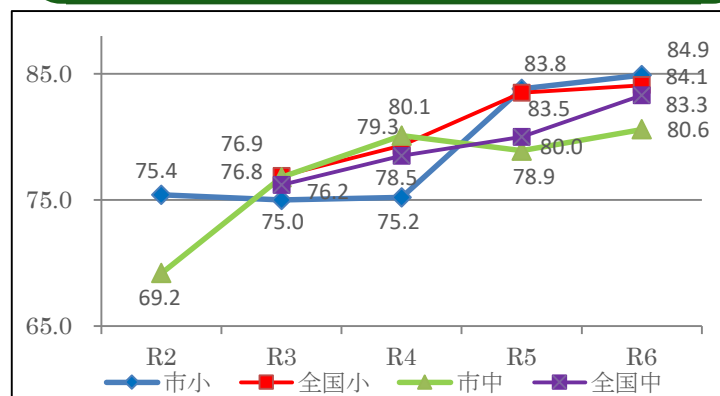
質問

自分には、よいところがあると思いますか。(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果

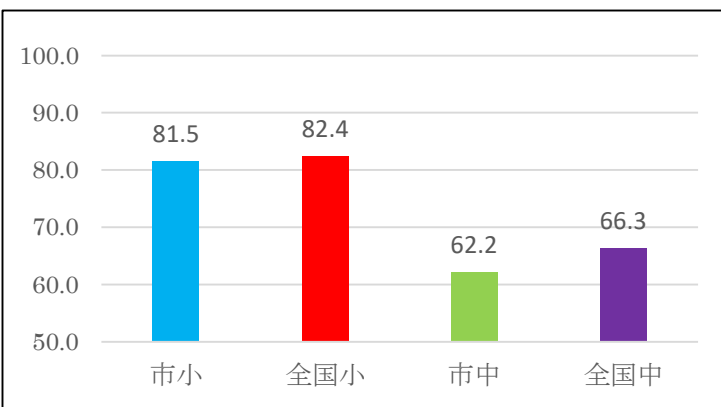


5年間の比較



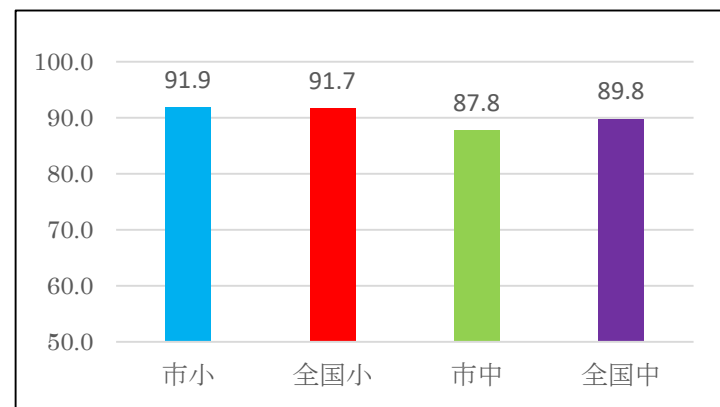
質問

将来の夢や希望を持っていますか。
(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)



質問

普段の生活の中で幸せな気持ちになることはありますか。(よくある・ときどきあるの割合)



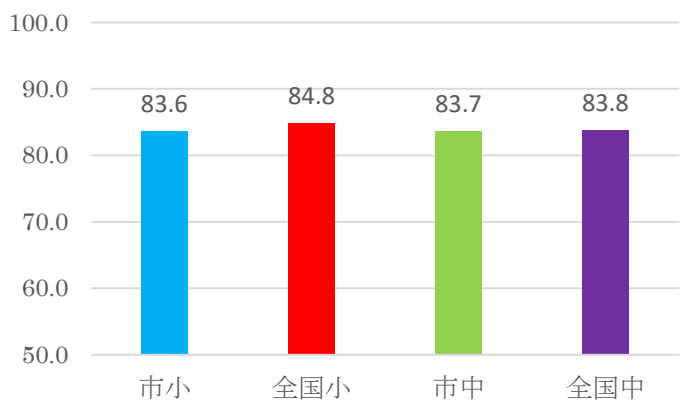
児童生徒質問の結果から

主な結果と経年変化

令和6年度
全国学力・学習状況調査 単位%

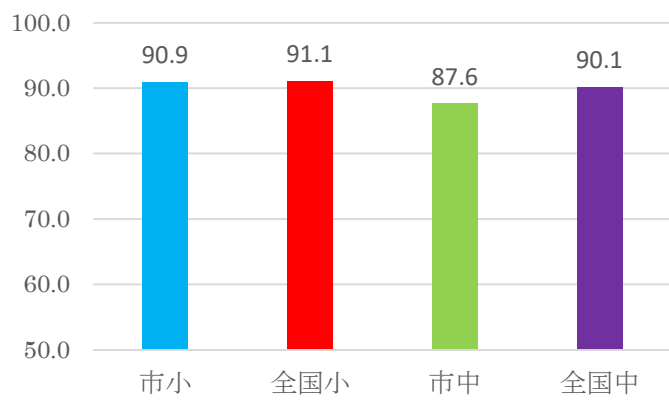
質問

学校は楽しいですか。
(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)



質問

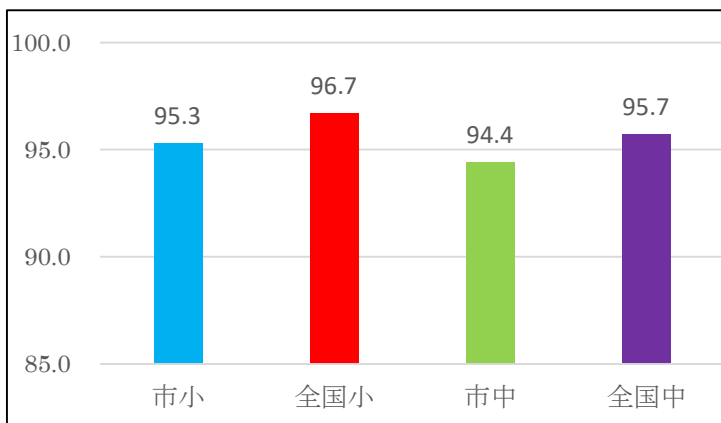
友だち関係に満足していますか。
(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)



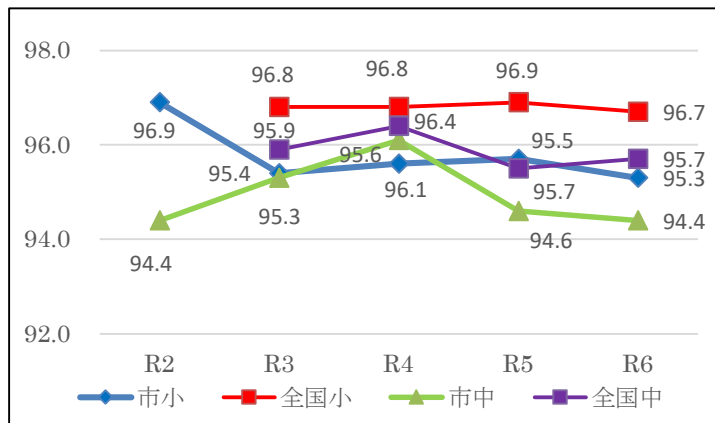
質問

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(当てはまるの割合)

今年度の結果



5年間の比較



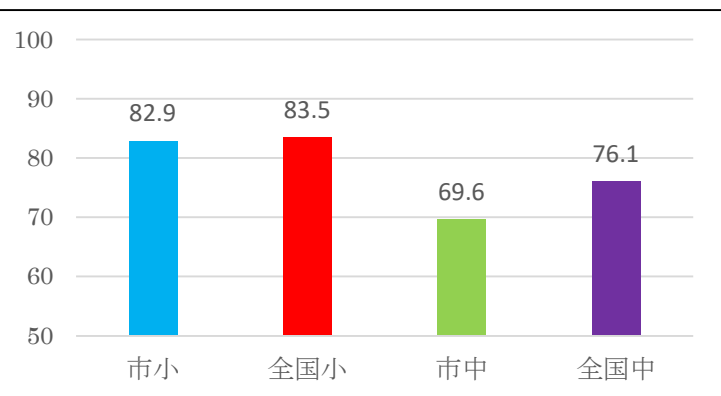
「地域とのつながり」について

地域や社会への関わりについて考える。

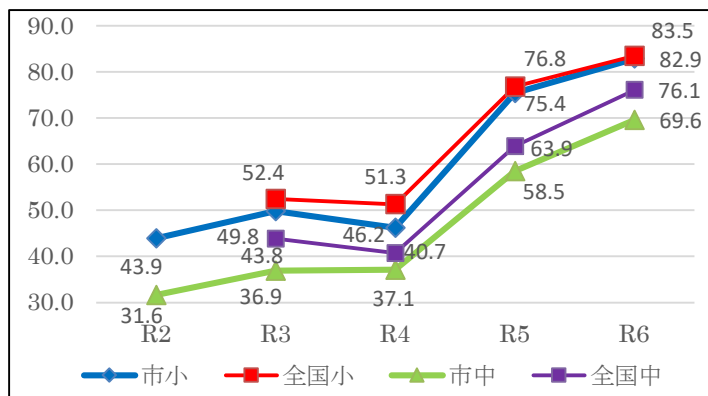
質問

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。※R5年度より質問変更 (当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果



5年間の比較



児童生徒質問の結果から

主な結果と経年変化

令和6年度
全国学力・学習状況調査 単位%

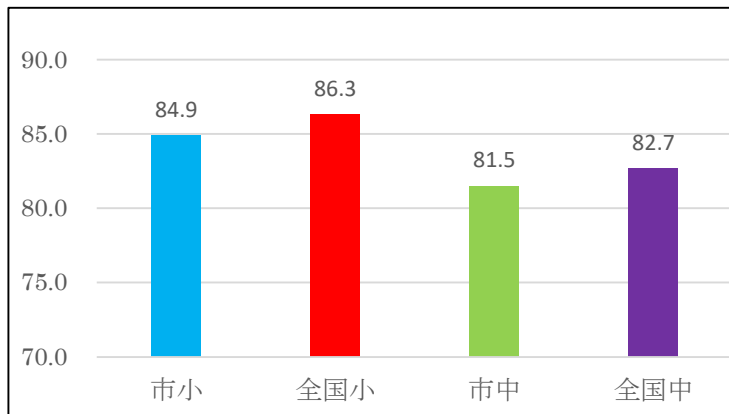
「教科学習」について

各教科の授業の理解について考える。

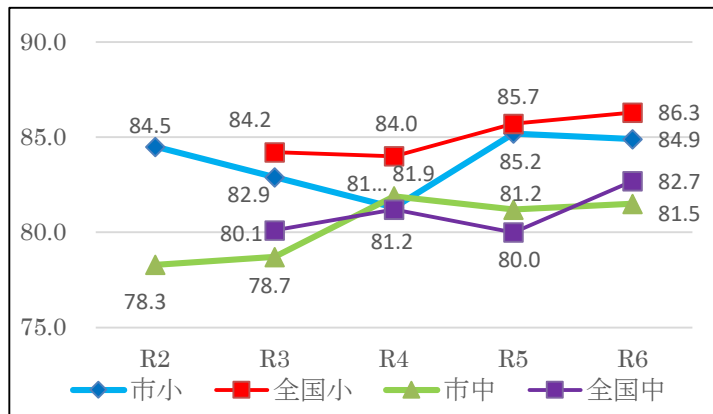
質問

国語の授業の内容はよくわかりますか。(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果



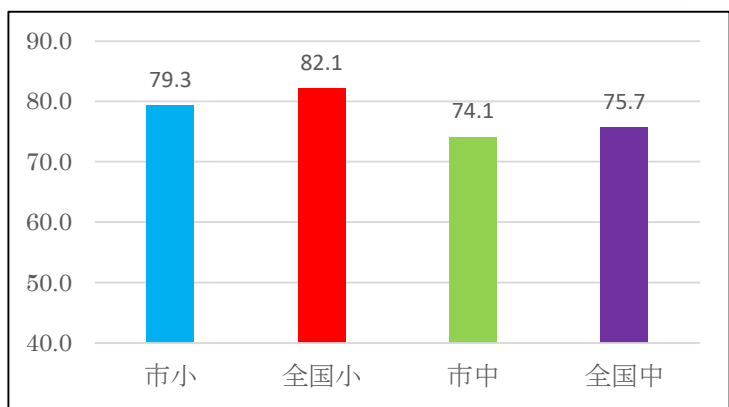
5年間の比較



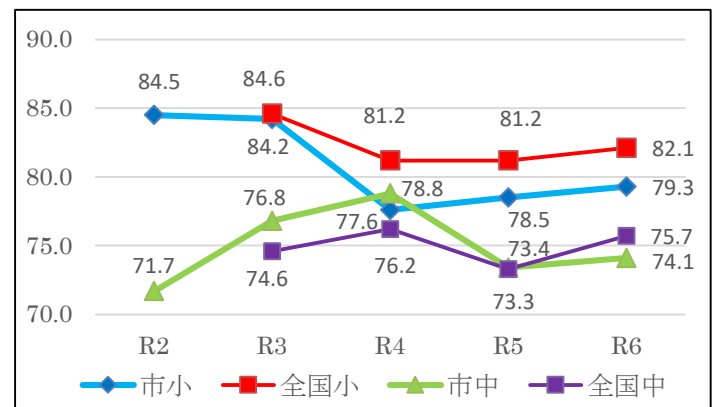
質問

算数・数学の授業の内容はよくわかりますか。(当てはまる・どちらかという当てはまるの割合)

今年度の結果



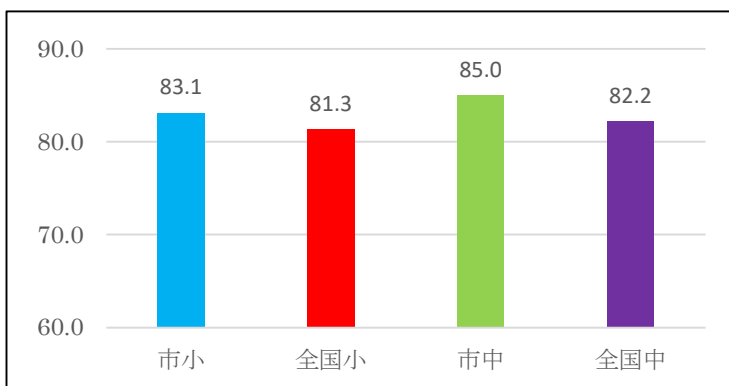
5年間の比較



質問

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

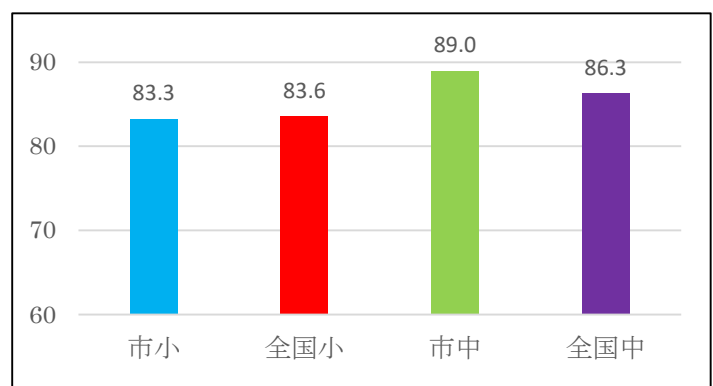
今年度の結果



質問

道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。

今年度の結果



規則正しい生活習慣を身につけましょう。

生活習慣の基本となる「早寝・早起き・朝ごはん」を実践し、よい生活リズムを心がけましょう。

自分の良さに気が付く声掛けを

こどもの個性を尊重し、出来ないことではなく、出来ることを評価し、物事に主体的に取り組む姿勢を育みましょう。

計画的な家庭学習に取り組みましょう。

取り組む時間や分量、内容など、自分で計画を立て、継続的な家庭学習に取り組みましょう。

地域の方々と顔が見える「つながい」をつくっていきましょう。

海老名市ではコミュニティ・スクールを導入し、「地域で育てるこどもたち」を目指しています。地域に関心を持ち、地域の行事等に家族で参加しましょう。

ご協力をお願いします！

